

- 欧米豪外国人が来島できる仕組み
- 紫蘇(しそ)を使用した特産品開発
- 地域とスポーツイベントの密着化

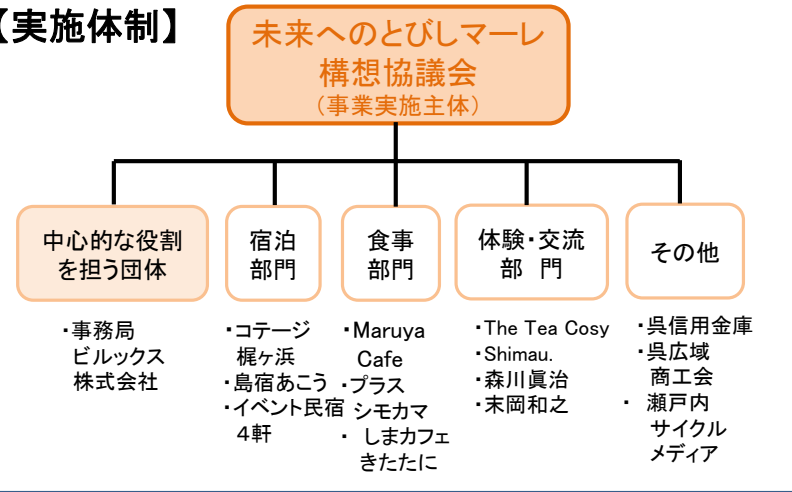


【採択年度】
令和元年度

【事業実施期間】
令和元～2年度

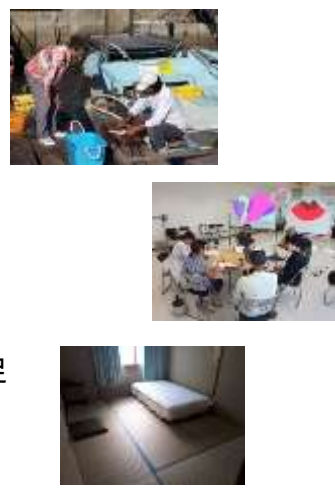


【実施体制】



【特徴的な取組】

- 既存の体験施設での外国人向け体験メニュー開発
- 紫蘇を使った特産品開発に向けた商品の試作
- 民泊が行われてない地域での民泊の理解、浸透を促す上でのイベント民泊制度の活用



【取組内容】

- ・多言語対応(英語)ホームページを開設し、レンタサイクル予約と決済システムの構築。オーストラリアをターゲットにプロモーション。2020年度で100名のオーストラリア人の集客
- ・レンタサイクルで繋ぐ海、山、人を生かした様々な体験メニューの開発。2019年度8個 2020年度10個
- ・無農薬の紫蘇を使った、下蒲刈島の良さ(歴史、文化、伝統)を盛り込んだ、売れる商品づくり。
- ・イベント民泊制度を活用し、宿泊費用など、地域に還元できる仕組みを構築。



インバウンド対応状況 (青: 対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約